

シラバス参照

講義名	A I 活用基礎201		
開講責任部署	大阪学院大学		
講義開講時期	秋学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	13.00
開講年度	2026		
配当年次	2		
曜日講時	金2		

担当教員

氏名

◎ 白川 雄三

講義(演習)テーマ	OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)科目 AIの基礎として、機械学習、深層学習そして生成AIについて学修する。
講義(演習)概要	「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」では、各自の専門分野においてAI・データサイエンスを活用できる実践的な能力の育成を目的とします。そのために、まずAIの歴史や主な応用分野を学び、続いてAIが社会において果たす役割について理解を深めます。さらに、AIの基礎となる機械学習や深層学習の考え方を学ぶとともに、現在広く活用されている生成AIについても扱い、実社会での活用を意識した知識と視点を身につけます。
卒業認定・学位授与の方針との関連	養成する能力 ◎社会人として必要な素養と豊かな人間性を身につけている。 ◎獲得した知識・技能を活用する態度や行動力を身につけている。 ※◎、○、△は関連性を示す。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・AIモデルを構築し、評価し、改善できる。 ・自分の専門分野の課題にAIを適用できる。 ・AI活用に伴う倫理・法的問題を説明できる。

講義スケジュール(授業計画)

回	内容
第1回	AIの歴史と応用分野
第2回	AIと社会
第3回	機械学習の基礎と展望(1)
第4回	機械学習の基礎と展望(2)
第5回	機械学習による予測・判断
第6回	深層学習の基礎と発展(1)
第7回	深層学習の基礎と発展(2)
第8回	認識
第9回	言語・知識
第10回	生成AIの基礎と展望
第11回	身体と運動
第12回	AIの構築・運用
第13回	おわりに

評価基準・方法	定期試験：35% レポート：65%（レポートは確認後、返却します。授業やOGU-Caddieで解説を行います。） その他：0%
授業外学習の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の授業につながるよう、課題や予習・復習（各2時間）に取り組んでください。予習としては教科書の該当箇所をよく読み、復習としては小テストに解答してください。 ・ OGU-Caddieに、「東京大学 数理・情報教育研究センター」の作成した数理・データサイエンス・AI教育プログラム補助資料をアップロードするので、予習・復習に使用してください。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「AI活用入門A」、「AI活用入門B」を履修していることが望ましい。 ・ (2023年度以降の入学対象) ・ 「データサイエンス基礎」の履修を強くおすすめします。 <p>この科目は「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」の科目です。 「データサイエンス基礎」と「AI活用基礎」の両方を合格した者には、「OGU数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」の修了証を発行します。</p> <p>ChatGPTなどの生成AIの利用については公式ホームページを確認すること。</p>
オフィスアワー	4月にホームページに掲載する。
教科書	竹村彰通他編、飯山将晃他共著『データサイエンス応用基礎』学術図書出版社（ISBN：9784780607154）
参考文献	北川源四郎、竹村彰通編『応用基礎としてのデータサイエンス 改訂第2版』講談社（ISBN：9784065386187）
担当者からの一言	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席を重視します。 ・ AIスキルは、今後の社会人の必須スキルです。できる限り、身につけてください。 ・ 授業についての連絡は、OGU-Caddieの「掲示板」、「お知らせ発信」機能を使用します。

